



秋田から世界へ 革新的なものづくりで

株式会社アスター



確かな技術力と、独創的な開発力によって
支えられた、オンリーワンの製品で、横手から
世界へと挑戦!

生き残りをかけて、技術開発へ

横手市平鹿町の豊かな自然に囲まれた地に工場を構える、株式会社アスター。創業のきっかけは、アスター工業株式会社・秋田工場の閉鎖だった。2009年12月、リーマンショックの影響により工場の閉鎖が決定。当時、工場長だった本郷社長は、「従業員の雇用を守りたい」の一心で、工場を譲ってくれるようオーナーに直談判した。周囲の反対を押し切って工場を買い取り、2010年1月、株式会社アスターが誕生した。従業員たちは全員、ただの1日も失業することなく、株式会社アスターに雇用された。

創業当時は、取引先がほとんどなく、まったくの赤字。社長は会社存続をかけて、技術開発に乗り出す。それもただの技術ではなく、世界と戦えるオンリーワンの技術開発にこだわった。

本郷社長が考える世界と戦える優れた技術とは、基本理念が「シンプルであること」。この技術がどのように活用できるのかが分かりやすく、説明しやすいということ。それから、「ダントツであること」。他社の製品と比較したときに、ずば抜けて効果が高い、コストが低い、などのインパクトがあること。最後に、「時代のニーズに合っていること」。「世の中に必要とされている技術でなくては、開発する意味がない」と本郷社長は言う。

こうした信念に基づき、いくつもの技術・製品が開発された。



A 笑顔の本郷社長と従業員の皆さん
B 板状の銅線が特徴的な AST コイル(左)

確かな技術で大躍進

LED照明の製品分野では独自の放熱技術を利用し、薄型化、軽量化、省エネ化を実現。街路灯や球場の夜間照明としても活用され、アスターのLED照明は大企業と肩を並べる。豪雪地帯である地域の人々の生活を楽にしたい、という思いから、屋根や玄関、軒下に設置できる省電力融雪シート「雪どけちゃん®」や、アスター床暖システム「ぬぐだマル」の開発・製造にも力を入れている。また、溶接や接着剤を使用しない接合、「カシメ」において他にない高い技術力を誇っており、特許を取得している。

数あるアスターの開発技術の中でも、近年、目を見張る成果を上げているのが、高効率モーターコイル「ASTコイル」だ。独創的な板状の銅線の成型技術により、モーターコイルの小型化、高効率化に成功。電気自動車や飛行機、発電施設などでの活用が期待される。このASTコイルは、NEDOの平成27年度戦略的省エネルギー技術革新プログラムに秋田県の企業として初めて採択されている。ここでも、アスターの技術は大企業と肩を並べた。

「自然豊かな恵まれた環境、確かな技術力を持った人材、ここにはすべてが揃っている。ここから、世界に挑戦したい」と、本郷社長。男気あふれる社長と、その社長を慕う70人の従業員が支えるこの工場では、世界の大企業を取引相手とする技術・製品の開発が今日も行われている。



代表取締役社長

本郷 武延
Takenobu Hongo

株式会社アスター

〒013-0105 秋田県横手市平鹿町浅舞字
道川北18-3
TEL.0182-24-1377
FAX.0182-24-0611
URL <http://ast-aster.com>

【会社概要】

自動車関連部品、産業機械装置、医療機器、LED照明、融雪シートなどの開発・製造・販売を行う。高い技術力によって製造された製品の品質・精度には定評があり、大手企業の自動車関連部品、医療機器などの製造を手掛ける。さらに、独創的かつ実用的な自社製品の開発においても成功を取めている。

創設年:2010年

